

2024 年度 第 3 回 情報共有会 議事録

1. **開催日時**：2024年9月20日（金）16時00～17時00分
2. **開催場所**：〒323-0013 栃木県小山市出井1195-4
坪野谷紙業様本社会議室 & オンライン会議
3. **出席者**：正会員、賛助会員の出欠状況は当日の会議資料中に記載
4. **報告事項**：

<2024年度 3ヶ月活動報告 高島代表理事より報告>

留意事項の説明

役員理事メンバー、サポートメンバーの紹介

2024年9月15日現在の加盟企業 24社

2社新規加盟(賛助会員：株式会社リコー様 藤森工業株式会社様→2024年10月より入会)

サプライチェーンの図解紹介

活動内容の再確認(使用済み剥離紙の再生資源化／リサイクル技術確立の支援／リサイクル状況の可視化・情報発信)

24年度事業計画 支出明細を見ながら説明(詳細別途資料にて)。

展示会への出展を計画変更→PR動画の作成

(前回共有済み) HP改修

<PR動画視聴 サポートメンバー宇敷より>

【目的】ラベル循環協会の取組を映像で視覚的に理解いただく。HP、展示会など様々な媒体で活用する。

【予算】2024年度予算：展示会出展費用を充てる。

2024年10月上旬に完成版をホームページにアップ予定。

皆様が活動頂く際のツールとして活用頂きたい。

牛乳カートン、紙コップの比較も検討していく。

<ホームページ改修について サポートメンバー大橋より>

リニューアル検討事項、具体的な変更内容を説明

デモサイトを実際に投影しながら説明

見やすく、伝わりやすいホームページに。2024年10月初旬に公開予定。

リーフレットも同時に改修 2024年10月中旬予定。

<剥離紙回収スキームについて 高島代表理事より>

回収パターンを定めた。図解を使用しながら説明

<前提>・剥離紙は『専ら物』・現時点で剥離紙は古紙原料として価値が低く、有価物扱いが難しい。排出企業様がA、B、Cの運搬を選択する。いずれにしても古紙業者と打合せが必要。

A.指定場所へ持ち込み

B.市営瓶運送(元払い)

C.古紙業者へ収集委託(資源委託契約)

<リサイクル事例紹介 サポートメンバー大橋より>

①フジッコ株式会社様

大手佃煮・惣菜メーカー。2回の回収実績で約8 t 回収➡山田洋治商店様新座営業所にて破砕処理、プレス梱包➡板紙製紙メーカーへ出荷(ダンボール中芯原紙)

②MEARSK株式会社様

デンマークに拠点を置く海運コングロマリット。1回の回収実績で約1.5 t、自社にて圧縮梱包機あり➡山田洋治商店様新座営業所にて破砕処理、プレス梱包➡板紙製紙メーカーへ出荷(ダンボール中芯原紙)

<リサイクラーの状況について 高島代表理事より>

日誠産業様・・・受け入れ可能

日本製紙グループ・・・東京資源(株)➡日本製紙へ。受け入れ可能。

王子グループ様・・・王子マテリア様にて受け入れ検討。5工場にて受け入れ検討中

佐賀工場、岐阜(中津川)工場 続いて日光工場、大阪工場、祖父江工場

ダンボール中芯のほか、ゆくゆくは板紙原紙にも使用できればと考えている。

2024年12月の情報共有会にて水平リサイクルについて詳細を報告できるよう動いている。

<リサイクル トレース管理の実証実験について 高島代表理事より>

回収した剥離紙がしっかりとリサイクルできているか確認するため。

リサイクル状況の把握、環境負荷の可視化が目的

<メリット>

排出企業・・・資源化の担保／GHG削減効果

リサイクラー・・・古紙原料の在庫

資源循環管理イメージを図解を使用して説明

IDを利用して、各ステージにて管理

実証実験の募集要項の説明

※別紙資料参照 応募締切 2024年10月4日(金) info@j-ecol.or.jpまでメール

<その他の連絡事項 高島代表理事より>

・展示会の出展届について

事務局側に出展要項をメールにてご連絡頂きたい。頂ければホームページにニュース掲載致します。

・入会特典名刺を是非活用をお願いします。

・ラベルフォーラムジャパンのミニセミナーにて登壇予定 2024年10月23日(水)14:00～15:00

資源循環プロジェクト様、東洋インキ様とセッション。

要予約なのでご興味あればお申込み頂き、是非ご来場を。

<閉会の言葉／次回予定 高島代表理事様より>

引き続き皆様のご支援を賜りたい。

次回、第4回情報共有会 2024年12月13日(金)16:00～

今期最後の情報共有会です。対面でご参加頂ければ幸いです。

以上